特許 第1438822号

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

超軽量ふわっとベッド

両 対 面

アイtoアイ

取扱説明書／保証書

SG安全基準A形

・この製品は生後1月から24月までの乳幼児1人用乳母車（ベビーカー）です。
・ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
　また、本書は必ず保管してください。
・取り外してある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。
・製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

もくじ

ご使用まえに …… ❶
SG基準について …… ❶
ご使用上の注意 …… ❶〜❹
　警　告 …… ❷〜❸
　注　意 …… ❹
　禁止事項 …… ❹
各部の名称 …… ❺〜❻
　本体と付属品の名称 …… ❺〜❻
ベビーカーを開く時 …… ❼〜❽
　ベビーカーの開き方 …… ❼〜❽
　ストッパーの使い方 …… ❽
　キャスターの使い方 …… ❽
お子さまを乗せる時 …… ❾〜❿
　お子さまの乗せ方 …… ❾〜❿
　フルマモールの使い方 …… ⓫
お子さまが快適にすごせるために …… ⓬〜⓭
　日除けの使い方 …… ⓬
　サーモメディカルシステムについて …… ⓭
　足カバーの使い方 …… ⓭
便利な機能 …… ⓮
　ハンドルの切替え方 …… ⓮
　カゴの使い方 …… ⓮
　ショルダーストラップの使い方 …… ⓮
ベビーカーを折りたたむ時 …… ⓯〜⓰
　ベビーカーの折りたたみ方 …… ⓯〜⓰
縫製品のお手入れ …… ⓱〜㉓
　縫製品の取り外し方
　〈背面ベンチレーションタイプ〉 …… ⓱〜⓲
　〈背面・側面ベンチレーションタイプ〉 …… ⓳〜⓴
　セーフティガードカバーの取り外し方 …… ㉑
　日除けの取り外し方 …… ㉑
　カゴの取り外し方 …… ㉑
　縫製品の洗浄方法 …… ㉒
車体のお手入れ …… ㉓〜㉔
　シリコーンオイルの取り扱い上の注意 …… ㉓
　車体のお手入れ方法 …… ㉓〜㉔
保証とアフターサービスについて …… ㉕
　アフターサービスについての連絡先 …… ㉕
保管のしかた …… ㉕
廃棄方法 …… ㉕
SGマークについて …… ㉖
保証書 …… ㉖

ご使用まえに

赤ちゃんは、大人の縮小版ではありません。
特に新生児期を過ぎて首が座るまでの赤ちゃんは未熟です。

赤ちゃんのことをよく理解しベビーカーの使用は注意してください。
①常に赤ちゃんの**様子に気を付け、連続使用は避けましょう。**
②赤ちゃんに**直射日光が当たらないように注意**しましょう。お母さんが感じるよりベビーカー内の温度は高くなります。
③騒音や浮遊粉塵の多い人込みは避けましょう。
④段差の通過は出来るだけ静かに、**振動・衝撃のかかる道などは避けましょう。**

SG基準について

・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。（この製品は、SG安全基準A形合格品です。）

	A形	B形
適用範囲	1月以上24月以内〔新生児期（生後1月まで）を過ぎたまだ首が座らない乳児の寝かした状態での使用から、最高24月まで。〕	7月以上24月以内〔自身の手で身体を支えることなく、ひとり座りできる乳幼児（標準として7月）から、最高24月まで。〕
使用範囲	生後1月～24月まで	生後7月～24月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢　2時間以内 座らせた姿勢　1時間以内	1時間以内
背もたれ角度	150°以上	110°以上
車輪の外径	115mm以上	115mm以上
耐振動衝撃性	10m/S^2 以下（ダミー腹部位置）	10m/S^2 以下（ダミー腹部位置）

ご使用上の注意

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、「禁止」の表示と共に大変重要な内容です。必ず守ってください。

表　示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
禁止	絶対してはいけない内容です。

警　告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

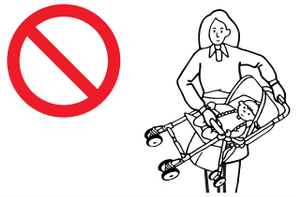
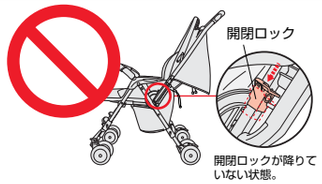
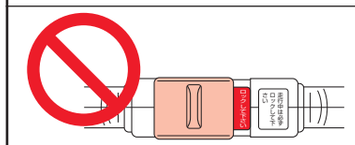
⚠ 警告（けいこく）		
	必ずシートベルトを締めて使用すること。	お子さまが落ちけがをするおそれがあります。
	腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節してください。	
	ベビーカーの中でお子さまを立たせない。	
	お子さまを乗せるときや降ろすときは必ず車輪ストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。	坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒し、お子さまがけがをするおそれがあります。
	お子さまや荷物を乗せた時には、ストッパーを過信しない。（構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。）	
	お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れない。	
	二人のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。	ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 警告（けいこく）

	お子さまを乗せている時、カゴ以外のところに荷物を乗せたり、つるしたり、ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけない。	ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。
	階段やエスカレーターなど段差のあるところでは使用しない。	
	お子さまを乗せたまま持ち上げない。	お子さまが落ちけがをしたり、ベビーカーが折りたたまれ挟まれるおそれがあります。
	お子さまを乗せる前に左右の開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。	
	必ずセーフティロックをかけた上で使用する。	
	空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。	
	夏季の晴天日中などは路面の影響によりベビーカー内の温度は高くなるので、長時間の使用は避ける。	

注　意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 注意（ちゅうい）

・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
・２台のベビーカーを連結して使用しない。
・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。
・ベビーカーの開閉などの操作時には、お子さまを廻りに近づけない。
・ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方（時速約4キロメートル位の速さ）で押す。
・体重20kg以上のお子さまを乗せない。
・空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
・セーフティガードに股ベルトを通しての使用はしない。股ベルトがやぶれる原因になります。
・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。可動部や回転部に砂などが入り開閉できなくなります。
・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
・踏切では、線路に車輪がとられないように注意する。
・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
・そのほか、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

禁止事項

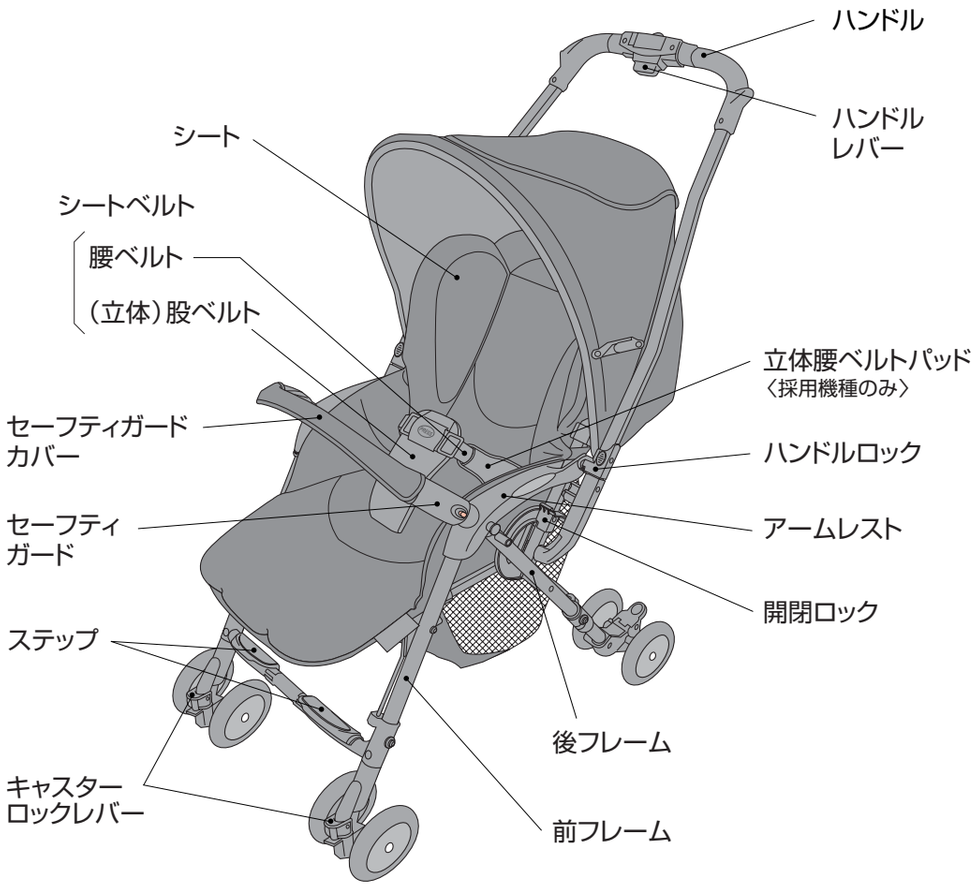
・次のようなことは絶対にしないでください。

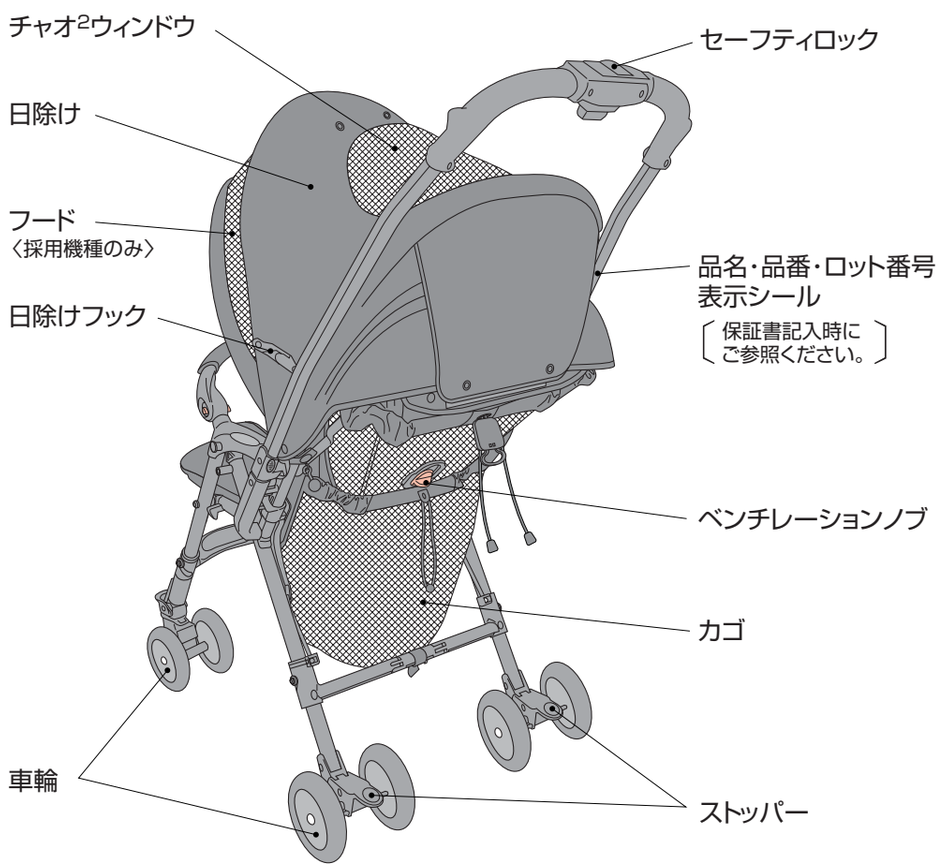
🚫 禁 止（きんし）

・弊社サービス員以外の分解・組立・改造。
・ネジやナットなどをはずしての使用。
・シートをはずした状態での使用。
・荷物などの運搬のための使用。
・アームレスト、セーフティガードに荷物を乗せての使用。
・保護者が、アームレストやセーフティガードに腰を掛けること。
・急激に力を加えたり、落下させた後の使用。
・子供の遊び道具としての使用。
・そのほか、お子さまを乗せる以外の目的での使用。

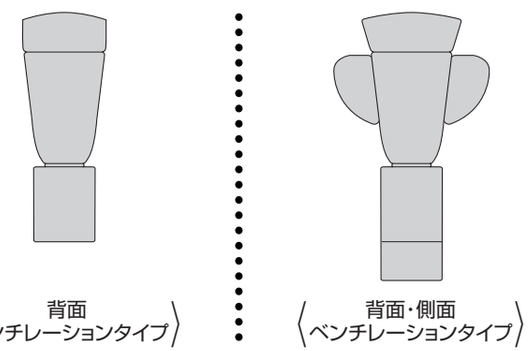
各部の名称

本体と付属品の名称

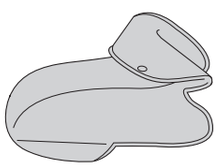




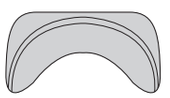
シート芯材(シートの中)



足カバー〈採用機種のみ〉



フルマモール〈採用機種のみ〉


脳・頸椎マモール

立体腰ベルトパッド

おなかマモール

立体股ベルト(全機種)

付属品

ショルダーストラップ

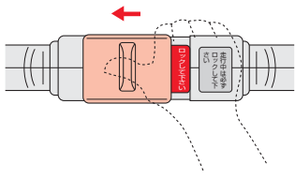
シリコーンオイル

取扱説明書(本書)

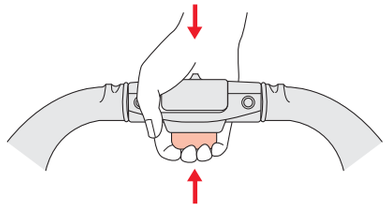
ベビーカーを開く時

ベビーカーの開き方

1 ロックの解除

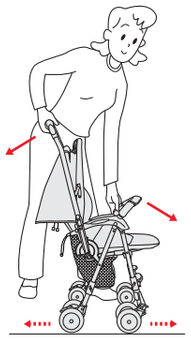


❶セーフティロックを解除します。

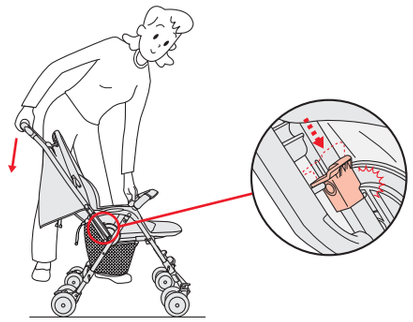


❷ハンドルを軽く下に押し付けながらハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除します。

2 Ⓐ 両手で開く場合

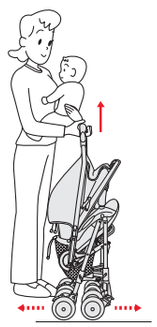


❶ハンドルレバーを握ったまま、もう一方の手でセーフティガードをつかんで開きます。

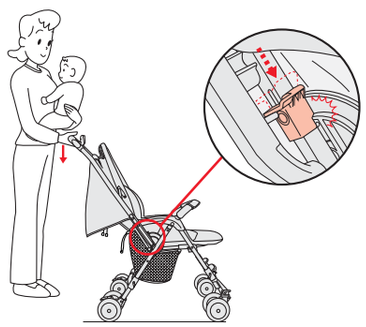


❷握っていたハンドルレバーをはなし、ハンドルを下に押しつけるとロックされます。

2 Ⓑ 片手で開く場合

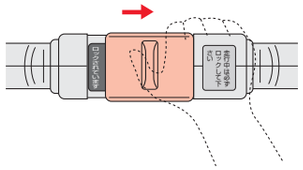


❶ハンドルレバーを握ったまま車輪が地面より離れるまで持ち上げ、開きます。



❷握っていたハンドルレバーをはなし、ハンドルを下に押しつけるとロックされます。

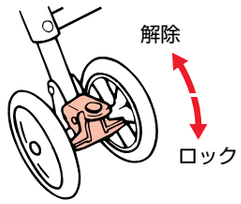
3 セーフティロックをかける



●セーフティロックをかけます。

お願い
- ロックが完全にかからない時や、セーフティロックが右に戻せない時は、もう一度 2 の操作を確実に行ってください。
- 梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2〜3回繰り返して操作してください。

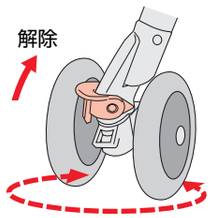
ストッパーの使い方



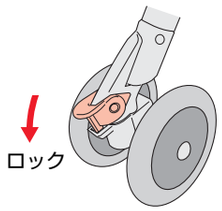
●お子さまや荷物を乗せていない時に、ベビーカーから離れる場合は、後輪のストッパーを左右共ロックします。（お子さまや荷物を乗せている時はベビーカーから離れないでください。）

⚠警告
- お子さまや荷物を乗せた時には、ストッパーを過信しない。構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。

キャスターの使い方



●平坦な道路での走行時には、キャスターロックを左右共解除します。（車輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。）



●凸凹道、坂道、傾斜地などでの走行には、キャスターを進行方向と逆側で左右共ロックする。

※ハンドルの切替え方はP14を参照してください。

お願い
- 折りたたむ時は、左右共キャスターをロックしてください。

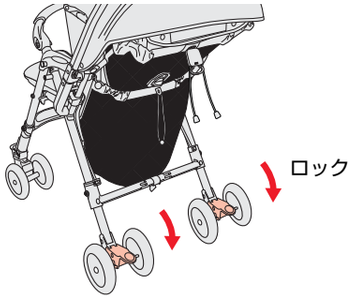
⚠注意
- 進行方向側で車輪をロックしないでください。

⚠警告
- 凸凹道、坂道、傾斜地などでの走行には、キャスターを左右共ロックする。キャスターの向きにより車輪が回転せず、ベビーカーが転倒したり、お子さまが落ちけがをするおそれがあります。

お子さまを乗せる時

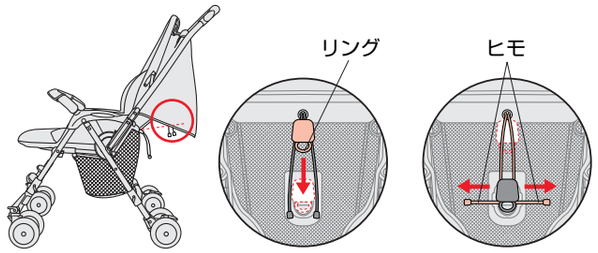
お子さまの乗せ方

1 後輪ストッパーをロックする



●左右の後輪をロックします。

2 リクライニングの角度を調節する

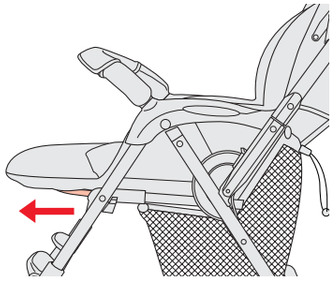


●倒す時はリングを下に引きます。

●起こす時はヒモを左右に引きます。

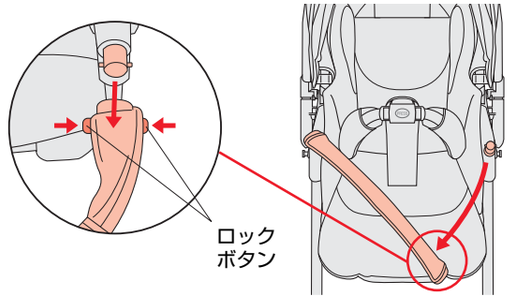
⚠注意
・リクライニングする前にカゴを開けてください。（→P14を参照してください。）

3 足のせを引き出す



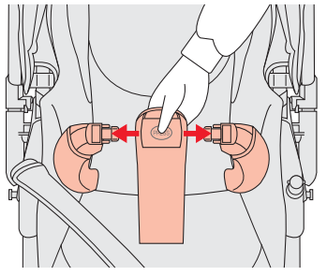
●左右のバーを持って手前に引き出します。（座席の延長として足のせを使う場合のみ）

4 セーフティガードを開く



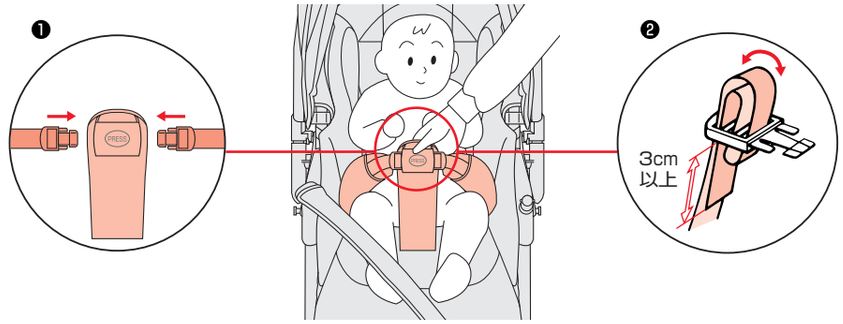
●内外のロックボタンを押してセーフティガードを開きます。

5 シートベルト（腰ベルト、股ベルト）を外す



●股ベルトの「PRESS」部を押して腰ベルトを外します。

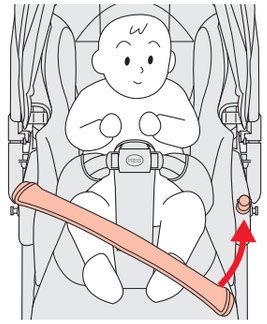
6 シートベルト（腰ベルト、股ベルト）をしめる



❶お子さまを乗せて、腰ベルトを股ベルトのバックルに差し込みます。
❷腰ベルトの長さを調節します。（腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。）

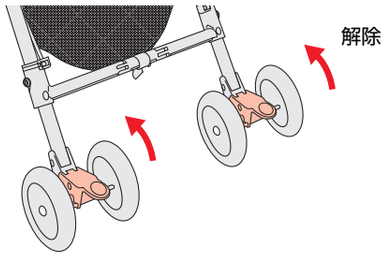
⚠注意
・腰ベルトの末端の出しろ（⟺部分）は必ず3cm以上残す。

7 セーフティガードを閉じる



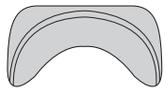
●セーフティガードを閉じます。

8 後輪ストッパーを解除する



●ベビーカーを押すときには、後輪のストッパーを左右共解除してください。

フルマモールの使い方〈採用機種のみ〉



脳・頸椎マモール

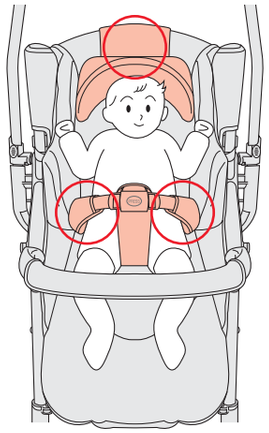
立体腰ベルトパッド

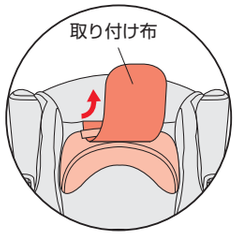
立体股ベルト（全機種）

おなかマモール

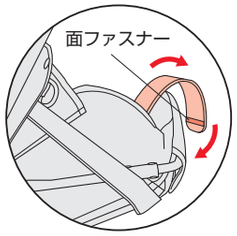
脳・頸椎マモール

・脳・頸椎マモールはベッド状態で使用してください。
・脳・頸椎マモールはサイズが合わなくなった時は、取り外してください。





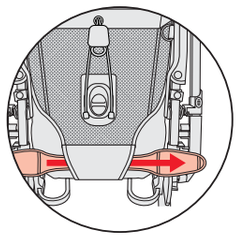
❶シートの取り付け布を脳・頸椎マモールに通します。



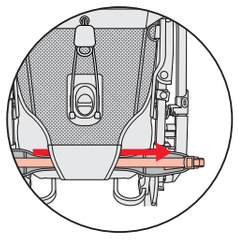
❷取り付け布をシートの裏側にまわし、面ファスナーでとめます。

立体腰ベルトパッド

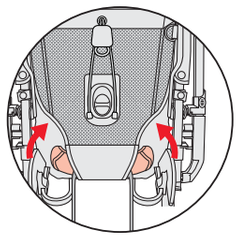
・腰ベルトを一度取り外してから取り付けてください。（→P20を参照してください。）



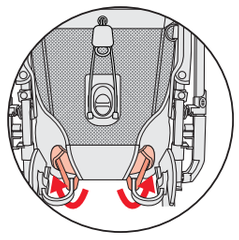
❶立体腰ベルトパッドをシート裏の筒に通します。



❷腰ベルトをシート裏の筒に通します。



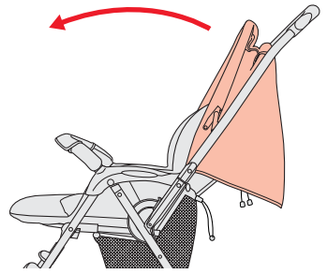
❸立体腰ベルトパッドをシートの表に引き出します。

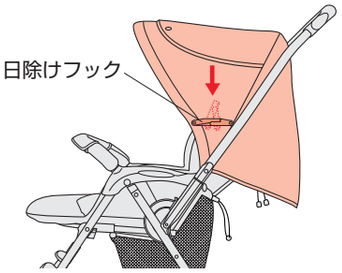


❹腰ベルトをフレームに通し、立体腰ベルトパッドの中からシートの表に引き出します。

お子さまが快適にすごせるために

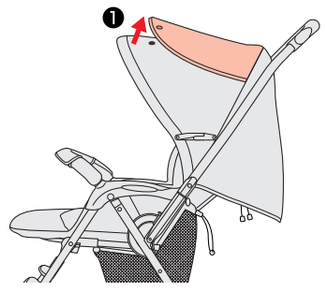
日除けの使い方

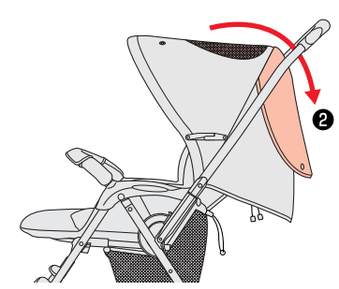




❶日除けを前方に開きます。
❷日除けフックを押し下げてロックします。

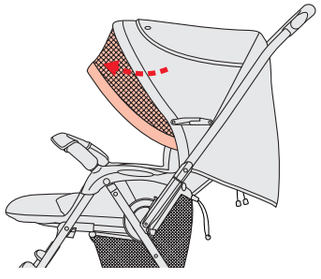
チャオ^2 ウィンドウ





❶日除け前部のホックを外します。
❷カバーをめくります。

フード〈採用機種のみ〉

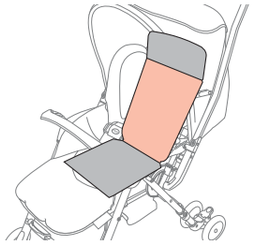


●日除けの内側からフードを引き出します。

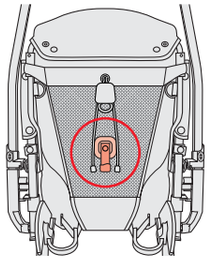
サーモメディカルシステムについて

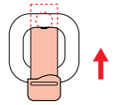
ベンチレーションの使い方

〈背面ベンチレーションタイプ〉

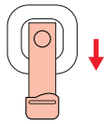


・背面の通気が調節できます。





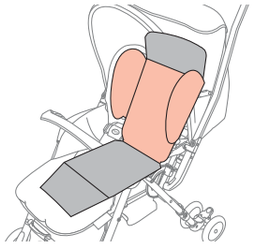
〈開〉



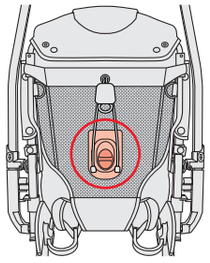
〈閉〉

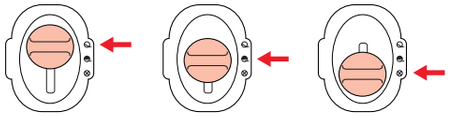
●外の温度や湿度にあわせてベンチレーションノブを上下させてシートの通気を調節します。

〈背面・側面ベンチレーションタイプ〉



・背面と側面の通気が調節できます。

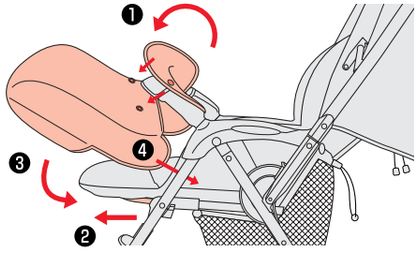


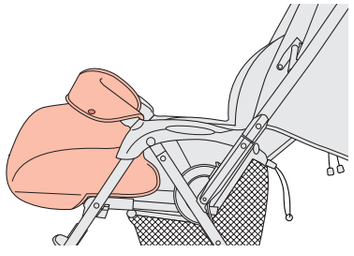


〈全開〉　〈半開〉　〈閉〉

●外の温度や湿度にあわせてベンチレーションノブを上下させてシートの通気を3段階に調節します。

足カバーの使い方〈採用機種のみ〉



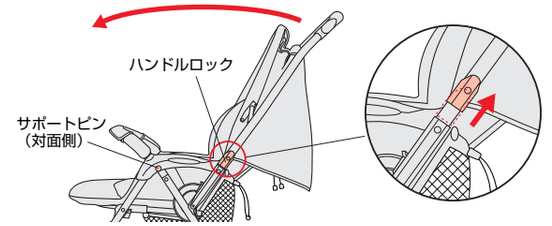


❶カバーをセーフティガードに巻き付けホックをとめます。
❷足のせを引き出します。
❸足カバーの底部をシートの下に差し込みホック（2カ所）をとめます。
❹前フレームの内側を通します。

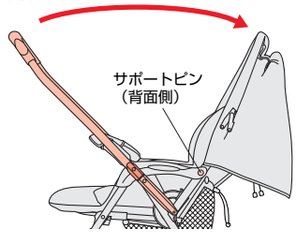
便利な機能

ハンドルの切替え方

〈背面から対面へ〉



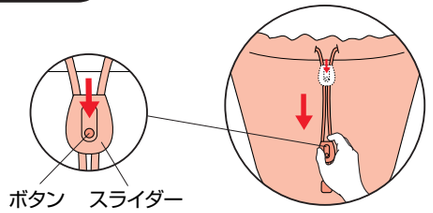
〈対面から背面へ〉



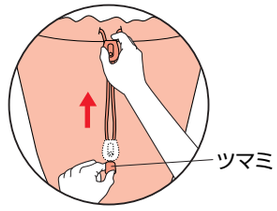
❶左右のハンドルロックを引き上げて、ハンドルを背面から対面（対面から背面）へ切替え、ハンドルロックをサポートピンに掛けます。
❷ハンドルを上下に動かし、ハンドルロックがサポートピンから外れないことを確認します。
※ハンドルを切替えるとキャスターのロック方向が変わります。（→P8を参照してください。）

⚠注意
・ハンドル切替えの時は、お子さまの手や指を挟まないように注意する。
・走行中はハンドルを切替えない。
・ハンドルが確実にロックされたか、使用前にハンドルを上下に動かし、必ず確認する。

カゴの使い方



●開ける時はボタンを下側にずらし、スライダーを引き下げます。

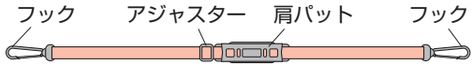


●閉める時は片手でひもの先のツマミを持ち、もう一方の手でスライダーを押し上げます。

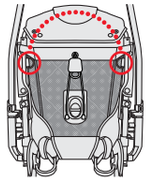
⚠注意
・カゴには角のとがった物を入れない。カゴがいたむことがあります。
・重量2.5kg以上の荷物を入れない。

ショルダーストラップの使い方

・車体にショルダーストラップを取り付けることにより、折りたたんだ時に、肩にさげて持ち運ぶ事ができます。
・アジャスターで長さが調節できます。



ショルダーストラップ

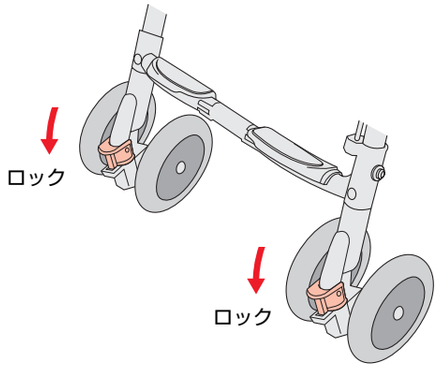


●両端のフックを車体の取り付け部にとめます。

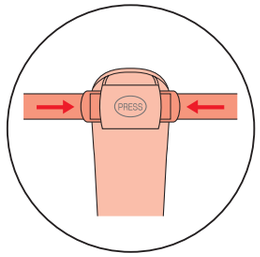
ベビーカーを折りたたむ時

ベビーカーの折りたたみ方

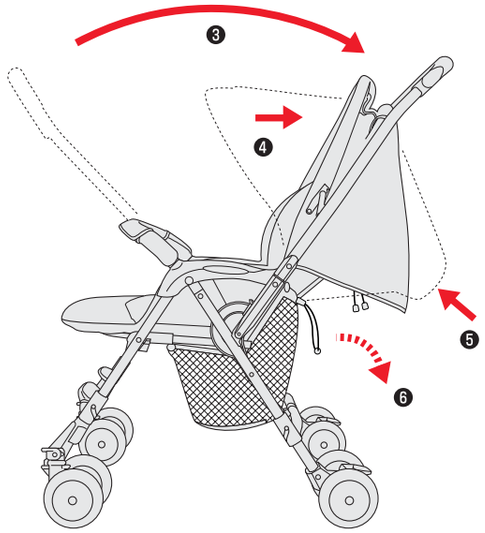
折りたたむ前に



❶左右の前輪キャスターを後ろ側にロックします。

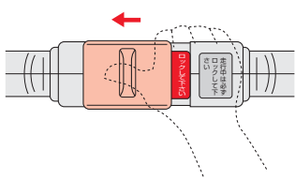


❷腰ベルトを股ベルトのバックルに差し込みます。

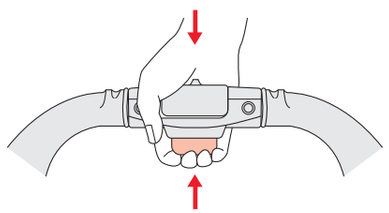


❸ハンドルを対面へ切替えてある場合は背面に戻します。
❹日除けをたたみます。
❺リクライニングを起こします。
❻カゴから荷物を取り出します。

1 ロックの解除

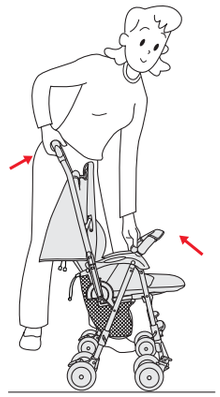


❶セーフティロックを解除します。

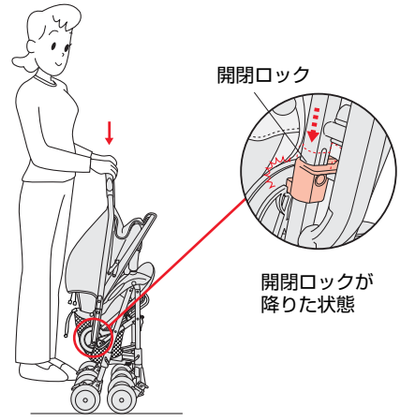


❷ハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除します。

2 Ⓐ 両手で折りたたむ場合

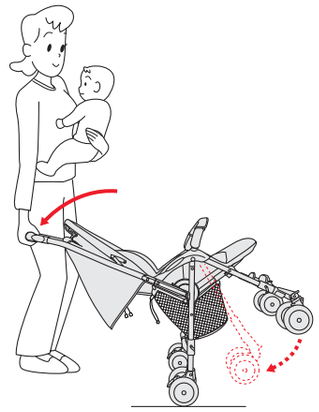


❶ハンドルレバーを握ったまま、もう一方の手でセーフティガードをつかみ引きよせます。

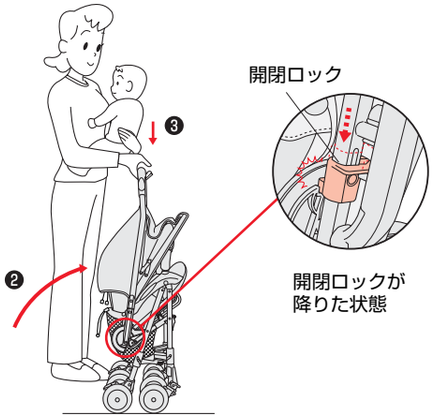


❷ハンドルレバーを離し、両手でハンドルを持ち下に押しつけてロックします。

2 Ⓑ 片手で折りたたむ場合

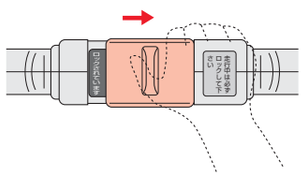


❶ハンドルレバーを握ったまま、車体を後ろに傾けます。



❷車体を起こし、ハンドルレバーから手を離します。
❸ハンドルを下に押しつけてロックします。

3 セーフティロックをかける



●セーフティロックをかけます。

お願い

・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2〜3回繰り返して操作してください。

縫製品のお手入れ

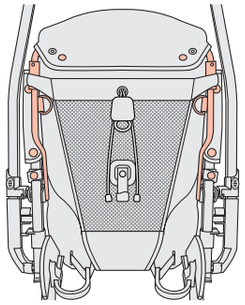
・縫製品が汚れた場合は、取り外して洗浄してください。
・縫製品は消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれなどがある場合は、お買い求めの販売店又は、弊社サービス係までお問い合わせの上、交換してください。（有償）

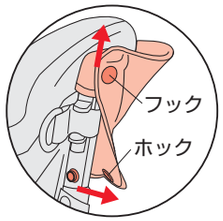
縫製品の取り外し方〈背面ベンチレーションタイプ〉

シート、股ベルト、シート芯材の取り外し方

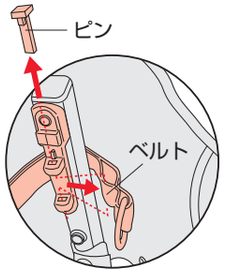
・日除け、カゴを取り外してから行ってください。（→P21を参照してください。）

1 車体の後ろから

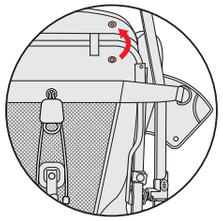




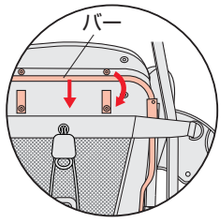
❶ホックを外してフックを上に抜きます。



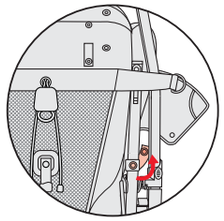
❷ピン、ベルトを外します。



❸シート上部のホックを外します。

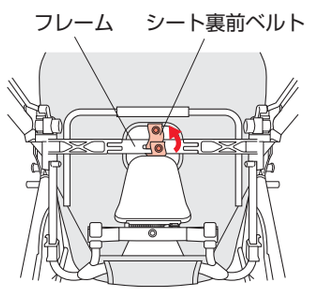


❹バーをとめているベルトのホックを外してバーを下げます。

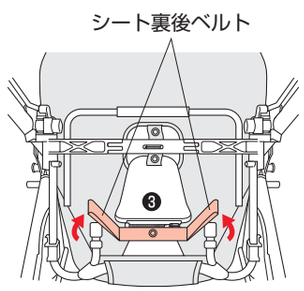


❺フレームからホックを外します。

2 座面の裏側から

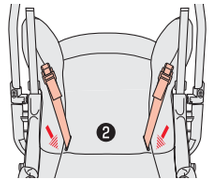


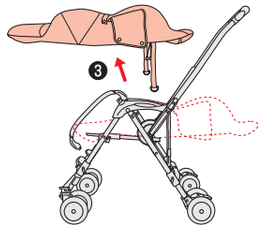
❶シート裏前ベルトのホックを外し、フレームから抜きます。



❷車体を少し折りたたみます。
❸シート裏後ベルトを外します。

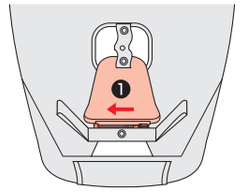
3 座面の上から

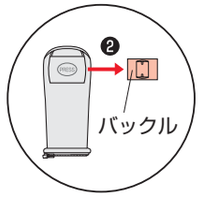




❶車体を開きます。
❷腰ベルトをシート裏側に抜き取ります。
❸シートを取り外します。

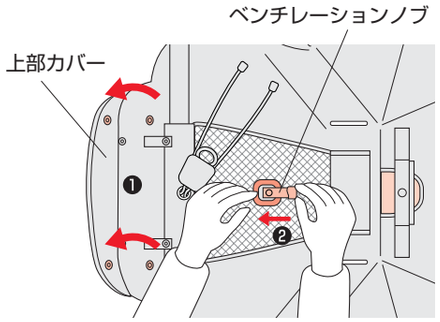
4 股ベルトを外す



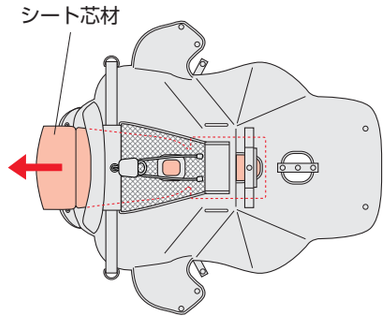


❶シート裏側のファスナーを外して、股ベルトを抜き取ります。
❷バックルのホックを外し、股ベルトから外します。

5 シート芯材を抜き取る

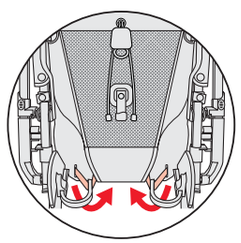


❶シート裏側の上部カバーのホックを外します。
❷ベンチレーションノブをシートの内側に入れ込みます。

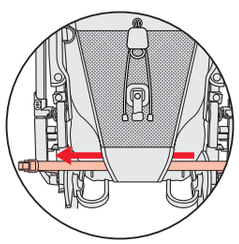


❸シート芯材を抜き取ります。

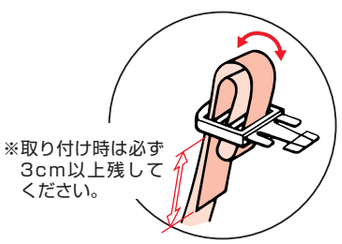
腰ベルトの取り外し方



❶腰ベルトの先端をシート裏側に抜き取り、フレームから外します。



❷腰ベルトをシート裏の筒から抜き取ります。



❸腰ベルトのバックルを取り外します。

※取り付けは逆の手順でおこないます。（バックルの表裏に注意してください。）

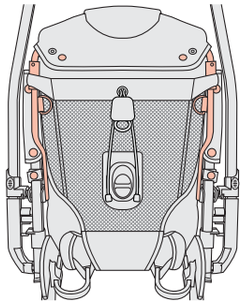
・縫製品が汚れた場合は、取り外して洗浄してください。
・縫製品は消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれなどがある場合は、お買い求めの販売店又は、弊社サービス係までお問い合わせの上、交換してください。（有償）

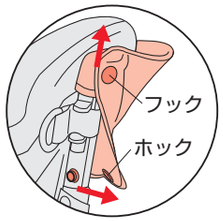
縫製品の取り外し方〈背面・側面ベンチレーションタイプ〉

シート、股ベルト、シート芯材の取り外し方

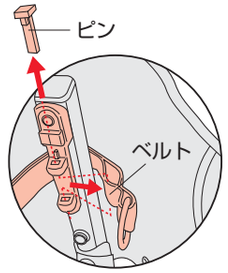
・日除け、カゴを取り外してから行ってください。（→P21を参照してください。）

1 車体の後ろから

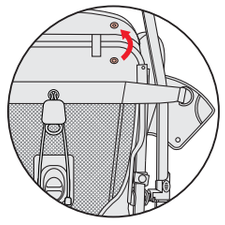




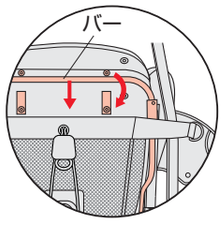
❶ホックを外してフックを上に抜きます。



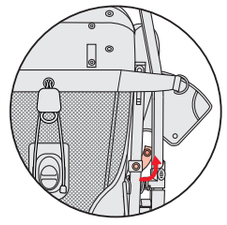
❷ピン、ベルトを外します。



❸シート上部のホックを外します。

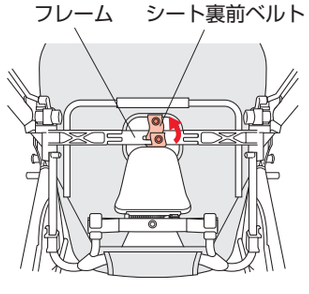


❹バーをとめているベルトのホックを外してバーを下げます。

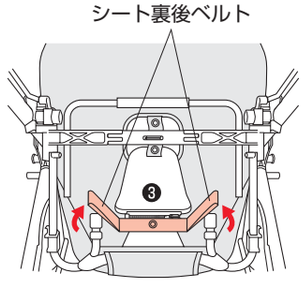


❺フレームからホックを外します。

2 座面の裏側から

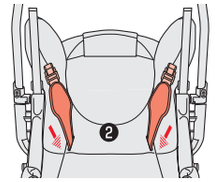


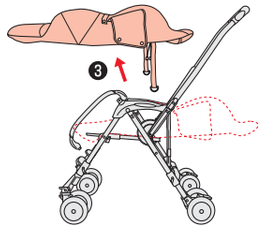
❶シート裏前ベルトのホックを外し、フレームから抜きます。



❷車体を少し折りたたみます。
❸シート裏後ベルトを外します。

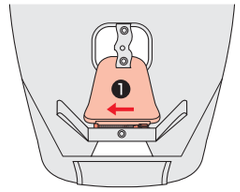
3 座面の上から

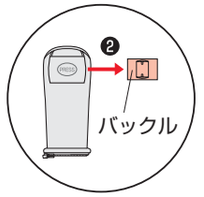




❶車体を開きます。
❷腰ベルトパッドと腰ベルトをシート裏側に抜き取ります。
❸シートを取り外します。

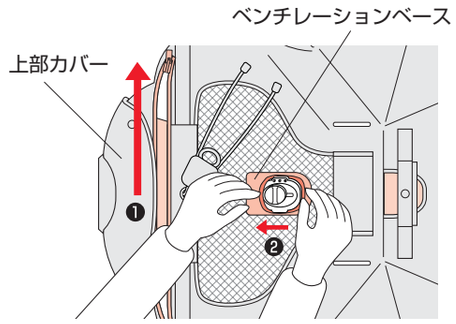
4 股ベルトを外す



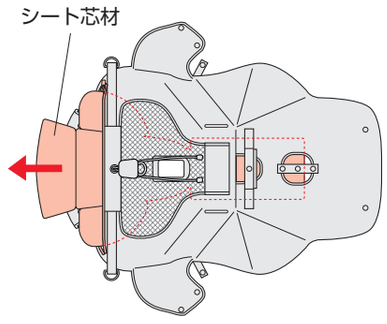


❶シート裏側のファスナーを外して、股ベルトを抜き取ります。
❷バックルのホックを外し、股ベルトから外します。

5 シート芯材を抜き取る

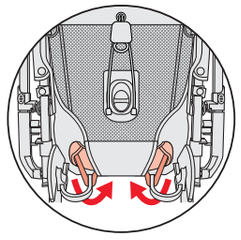


❶シート裏側の上部カバーのファスナーを外します。
❷ベンチレーションベースにはめ込まれている部分を引き出し、内側に押し込みます。

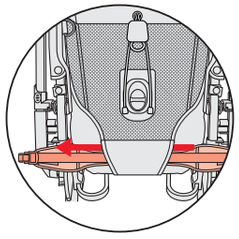


❸シート芯材を抜き取ります。

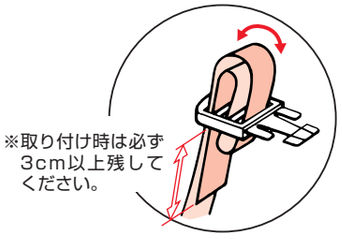
立体腰ベルトパッド、腰ベルトの取り外し方



❶立体腰ベルトパッドと腰ベルトの先端をシート裏側に抜き取り、フレームから外します。



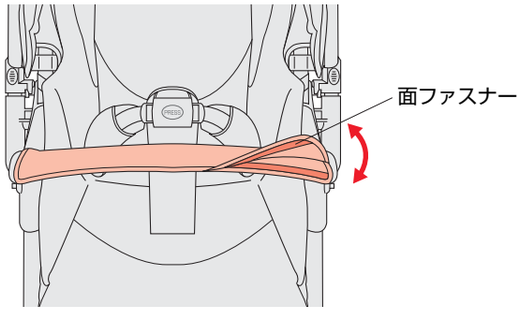
❷立体腰ベルトパッドと腰ベルトをシート裏の筒から抜き取ります。



❸腰ベルトのバックルを取り外します。

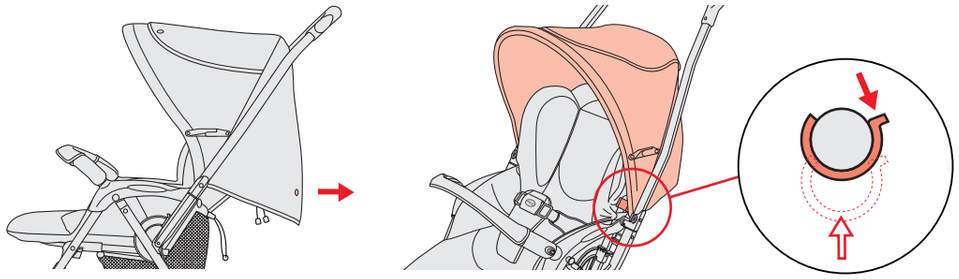
※取り付けは逆の手順でおこないます。（バックルの表裏に注意してください。）

セーフティガードカバーの取り外し方



●セーフティガードカバーの面ファスナーを外します。

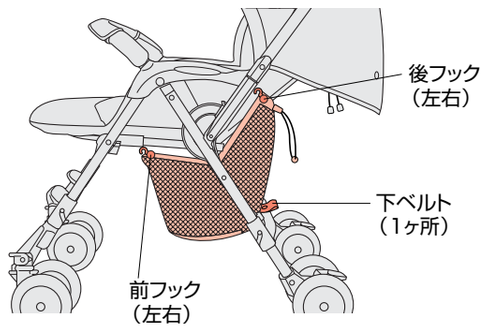
日除けの取り外し方



❶日除け後部のホックを外します。（2カ所）

❷➡の部分を手前に引きます。（左右）
※取り付ける時は⇨の部分を押し込みます。

カゴの取り外し方



●前後のフックと下ベルトを外します。

縫製品の洗浄方法

シート、セーフティガードカバー、立体股ベルト、腰ベルト、立体腰ベルトパッド〈採用機種のみ〉の洗浄について

・以下の点に注意して洗濯してください。

液温は、30℃を限度とし、弱い手洗い（押し洗い）にしてください。
（洗たく機は使用できません。）

干し方は、日陰の平干しにしてください。

塩素漂白剤は、使用しないでください。

アイロン掛けは、しないでください。

ドライクリーニングは、しないでください。

洗たく後、絞らないでください。

日除け、カゴ、足カバー（採用機種のみ）、ショルダーストラップの洗浄について

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合、40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合、中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

⚠注意

・シート芯材は洗濯しない。
・縫製品を屋外で干すときは、日陰の平干しにする。

車体のお手入れ

シリコーンオイルの取り扱いの注意

・可燃性のため、火気に注意してください。
・使用時には、直接皮膚につかないようご注意ください。
・皮膚に付着した場合には、乾いた布で拭き取った後、石鹸水でよく洗ってください。
・万一、眼に入った場合には、流水で15分以上洗浄し、刺激感が残るようであれば医師の診断を受けてください。
・万一、飲み込んだ場合には、口の中に残ったものを取り除き、ただちに医師の診断を受けてください。
・密閉した状態で冷暗所にて保管してください。
・お子さまの手の届かないところに保管してください。

車体のお手入れ方法

フレームや車輪のお手入れについて

・フレームや車輪についた泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

⚠注意

・フレームや車輪に泥やホコリが付いたままで使用しない。（故障の原因となります。）
・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しない。

※車輪は消耗品です。タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時はお買い求めの販売店又は、弊社サービス係までお問い合わせの上、交換してください。（有償）

ネジ、ナット類ついて

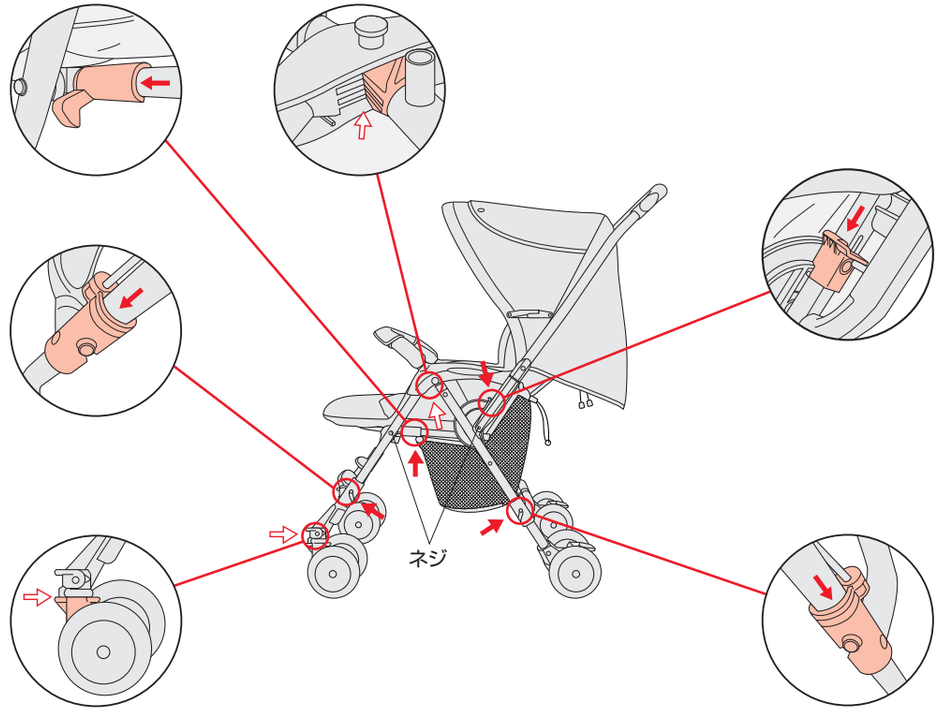
・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合はしめなおしてください。

⚠注意

・破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社サービス員の点検、修理を受ける。

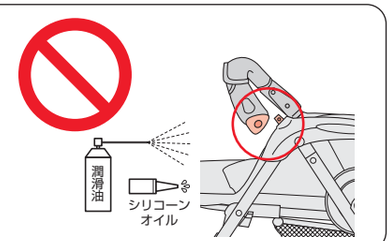
注油について

・注油の前には、泥やほこりを落とし、十分に水分を拭き取ってください。
・注油は、１ヶ所につき2～3滴としてください。
●車体を折りたたんだり、開くのがスムーズにいかない場合は、付属のシリコーンオイルを図の ➔ の箇所にさし、開閉操作を2～3回行います。
●キャスターがスムーズに回転しなかったり、車輪や車体がきしむ場合は、市販の潤滑油を図の ⇨ の箇所にさします。
※セーフティガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコーンオイルや潤滑油などが付着しないようにしてください。



⚠警告

・セーフティガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコーンオイルや潤滑油などを付着させない。セーフティガードが外れ、お子さまが危険になるおそれがあります。



保証とアフターサービスについて

・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（P6を参照してください。）をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社サービス係までご連絡ください。
・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター　TEL **0120−415−814**

受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎（0743）84-2050

保管のしかた

・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
・荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

廃棄方法

・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
（地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。）

SGマークについて

SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いいただけます。

SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。但しご購入後３年以内です。

賠償についてのご注意
・認定した製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について
・傷害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する処に届けてください。

製品安全協会　〒110-0012　東京都台東区竜泉2−20−2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03−5808−3303

〈事故賠償に必要な項目〉　①事故の原因となったＳＧマーク表示の製品
イ）製品の名前、ＳＧマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月
②事故発生の状況
イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ）被害の状況と程度（医師の証明書）